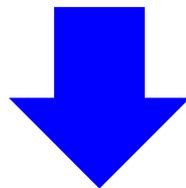


岡山駅東口広場バス乗り場について

- (1) 両備バスとめぐりんの運行面での整理事項
- (2) 現地調査結果
- (3) 調査結果の分析方法
- (4) 調査結果から考えられる10番乗り場への乗り入れケースと対応

(1) 両備バスとめぐりんの運行面での整理事項

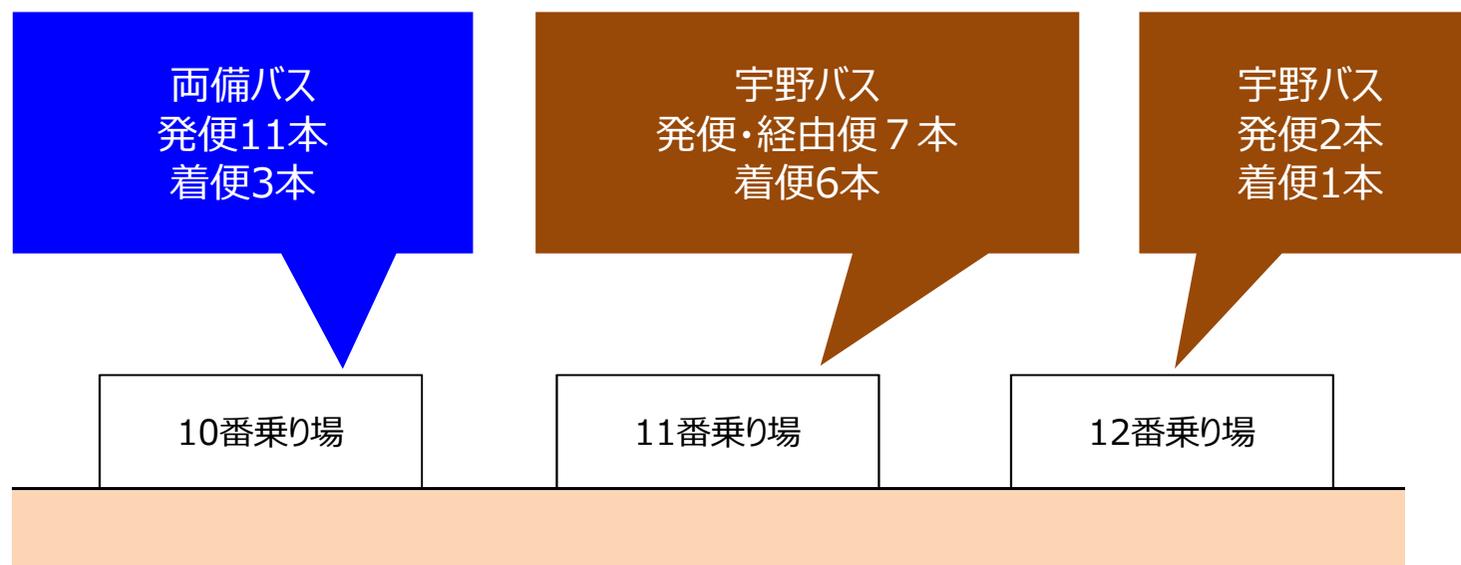
- 方面別化による利用者の利便性向上の観点から、八晃運輸が新規乗り入れを希望する「めぐりん益野線」の乗り場については、10番が望ましいと考える。
- 両備バスの10番乗り場を使用している路線はその大部分が発便である(着便も一部利用)。
- 両備バスの着便は基本的に8番乗り場(降車専用)を使用している。
- 10番乗り場はその大部分を発便が使用しているため基本的に時刻どおりに運行されている。
- めぐりんにとって、岡山駅は発着地ではなく通過地である。
- めぐりんは、朝、夕方など道路の渋滞の影響を受けて時刻どおりの運行ができない場合がある。



めぐりんは、10番乗り場の使用に際し、各事業者に配慮し、協力して乗り入れる必要がある。

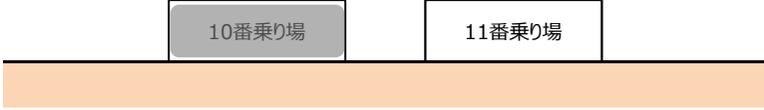
(2)現地調査結果

- 詳細な現地調査が必要という第1回幹事会の結果を踏まえ、12月7日(金)の8時台において現地調査(動画撮影及び分析)を行った。
- 10番乗り場は発便11本(時刻表と同一数)、着便(降車のみ)3本であった。
- 10場、11番、12番乗り場のすべての乗り場に同時に停車中という状況は発生しなかった。
- 10番乗り場1便あたり平均停車時間は、発便が1分33秒(43秒~2分37秒)、着便(降車のみ)が46秒(40秒~55秒)であった。



(2)現地調査結果

● 12月7日(金)の8時台における現地調査結果は以下のとおり分類できる。

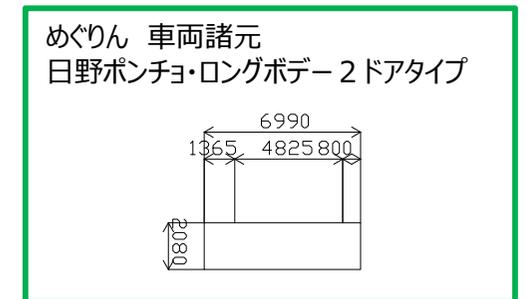
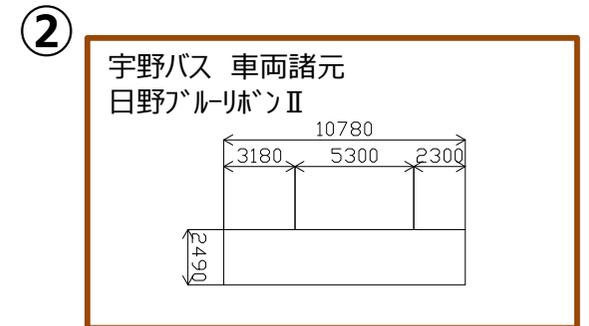
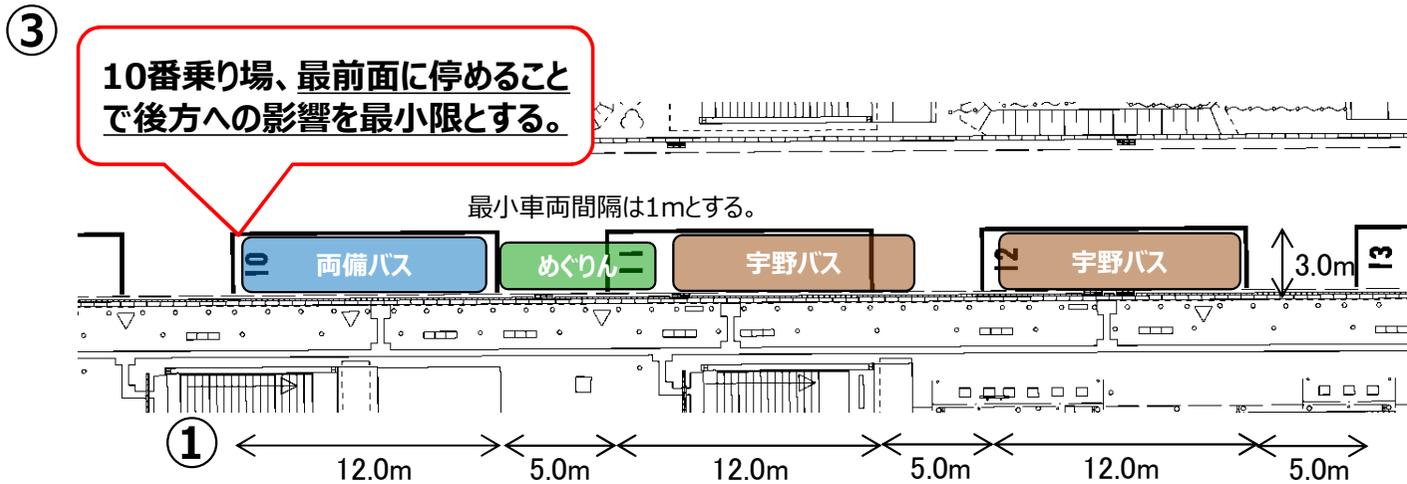
調査結果		イメージ	時間	割合
1	10番乗り場が空いている。		40分33秒	68%
2	10番乗り場が使用中、かつ、11番乗り場が空いている。		12分51秒	21%
3	10,11番乗り場が使用中、かつ、12番乗り場が空いている。		6分36秒	11%
4	10番11番12番乗り場がすべて使用されている。		0分00秒	0%
計			60分00分	100%

めぐりんは、通過便なので、どの程度遅れて岡山駅東口に到着するかわからないので、想定されるすべてのパターンで検証が必要となる。

(3) 調査結果の分析方法

以下の条件のもと10番乗り場にめぐりんが乗り入れ可能かについてAからDで判定を行う。

- ① 10番11番12番乗り場の区画線寸法は縦12.0m×横3.0m、各乗り場間隔は5.0m
- ② 車両は、両備バス(全長11.0m)、めぐりん(全長7.0m)、宇野バス(全長10.8m)
- ③ 10番乗り場で発生した影響が後方の乗り場へ及ぶことを最小限にするため、10番乗り場の使用においては枠の前方に停車することとする。



乗り入れ判定

A 問題なく
乗り入れ可能

B 乗り入れ可能
宇野バスまたは広場全体に影響

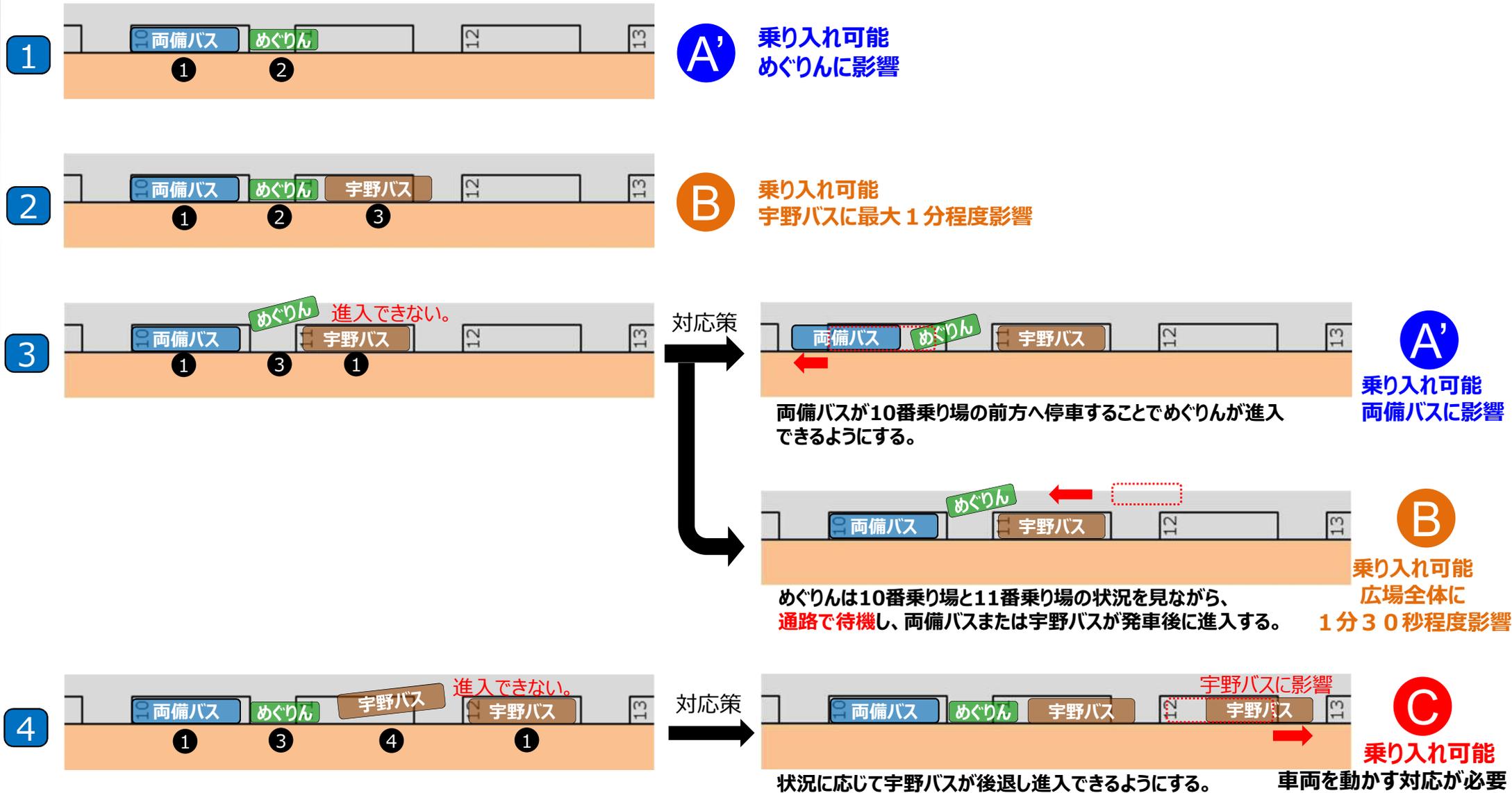
D 乗り入れ不可
(対策なし)

A' 乗り入れ可能
(両備バス、めぐりに影響)

C 乗り入れ可能
車両を動かす対応が必要

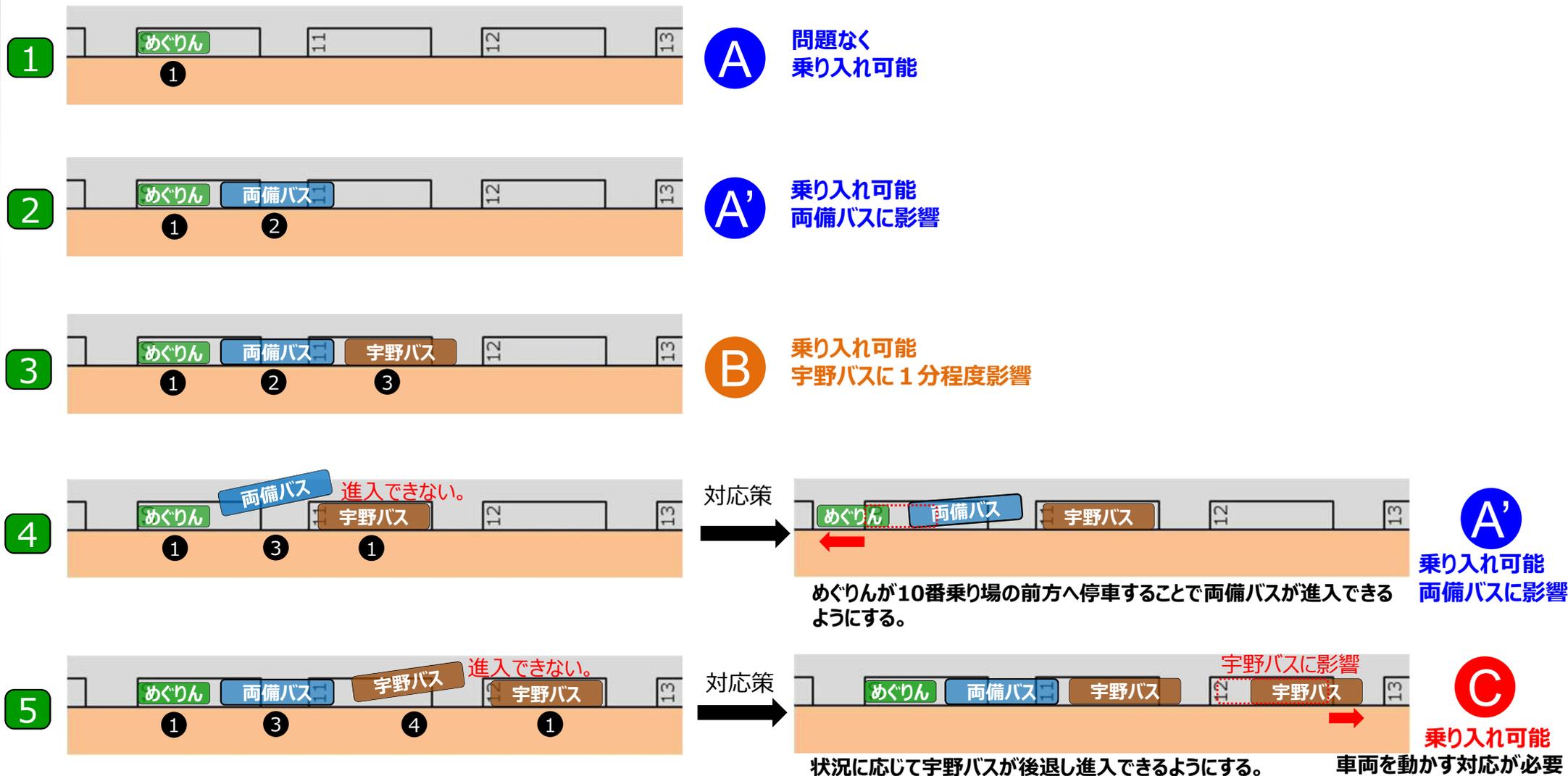
(4) 調査結果から考えられる10番乗り場への乗り入れケースと対応

・ 先に両備バスが10番乗り場停車中にめぐりんが進入する場合に考えられるケースと対応



(4) 調査結果から考えられる10番乗り場への乗り入れケースと対応

・先にめぐりんが10番乗り場停車中に両備バスが進入する場合に考えられるケースと対応



めぐりんが10番乗り場へ乗り入れ可能かについて分析した結果、
10番、11番、12番乗り場において、事業者間の調整が必要であるが乗り入れ可能である。